

一般社団法人国際再生医療普及協会
 特定認定再生医療等委員会議事要旨

日 時：2023年2月15日（水）15：36～15：46

開催場所：千葉大亥鼻イノベーションセンター 1階会議室/web

	摘要	氏名	出欠	利益相反	
				医療機 関	委員会 設置者
1	分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家	石井 伊都子	×		
		鈴木 邦子	○	無	無
2	再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者	齋藤 康 ※委員長	○	無	無
		落谷 孝広	×		
		寺井 崇二	×		
3	臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師）	中林 正雄	○	無	無
		竹本 稔 ※技術専門員	○	無	無
		佐野 明彦	○	無	無
4	細胞培養加工に関する識見を有する者	木田 泰之	○	無	無
5	医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家	中村 智広	×		
6	生命倫理に関する識見を有する者	川上 祐美	○	無	無
7	生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者	林 邦彦	×		
8	前7号に掲げる者以外の一般の立場の者	宮内 明子	×		
		中山 ちはる	○	無	無

配付資料（事務局受領年月日；2023年2月3日）

資料1 再生医療等提供状況定期報告書 2023年2月3日付

一般社団法人国際再生医療普及協会特定認定再生医療等委員会規則第6条第3項の定めにより、齋藤委員長は議長となり、本委員会の開会を宣言し、本日の出席委員を報告した。ついで本委員会の審議に必要な法定の成立要件を充足している旨を述べた。

審査：定期報告

医療機関：医療法人社団郁栄会 寒竹歯科医院

管理者：山口 清

議題：自己脂肪由来間葉系幹細胞由来骨芽細胞様細胞を用いた顎骨欠損の治療

結果：適

事務局より、当該期間の実施症例が1例あり、その概要の説明が行われ、出席委員との質疑応答が行われた。

右側乳癌、多発骨転移ある患者。2018年5月よりランマークが6週毎に投与開始され、2018年8月最終投与であった。原発は治療が奏功し半年毎のPET-CTにてフォロー中、2019年4月、智歯周囲炎疑いにより、左下智歯を千葉大学医学部附属病院口腔外科において抜歯した。その後2020年5月左下第二大臼歯より排膿あり再受診。骨髄炎の治療、数か月毎に洗浄、経過観察中である。

2021年10月に幹細胞移植を希望され、寒竹歯科医院を受診、2022年4月に脂肪吸引、6月幹細胞移植となり、投与日以降6月、7月、9月にフォロー検査及び観察を実施した。

脂肪採取から細胞投与まで提供計画に則り再生医療提供が行われ、安全性にも問題が無く経過観察中である。

排膿所見は改善傾向にあり、レントゲン所見著変なしで経過している。

患者の状況と治療の評価について質疑があったため、「主な質疑」へ詳細を記す。

審議の結果、本提供計画を継続することに問題ないとの結論で、参加委員全員の意見が一致し「適」とされた。

以上